

1月29日（木）子育て交流サロン「のぞみ」

▶地区ごとに児童館を作ってほしい。

三中地区で5歳と3歳の子どもを育てており、ポプラ児童館をよく利用しています。今は車で連れて行っていますが、今後は送迎が難しくなることも考えると、子どもが自分で通える距離に遊び場があれば助かると感じています。乳幼児だけでなく、小学生や中学生も安心して過ごせる児童館のような施設が、地区ごとにあるといいと思います。民間施設は料金が高いため、市として充実させてほしいです。

執行部

子どもが自分で通える距離に遊べる場所があることは、大切だと思っています。ただ、新しい施設を整備するには多くの費用がかかります。まずは既存の学校施設や地区公民館等を活用しながら、安心して過ごせる場所を増やしていきたいと考えています。

また、学童保育や学校内のこども教室など、小学生になってからの放課後の居場所づくりにも力を入れています。公民館の活用も含め、子どもが学び遊べる場所の確保を引き続き検討していきます。

1月29日（木）子育て交流サロン「のぞみ」

・出産・産後の支援を充実してほしい。

水戸で妊娠が分かり土浦に引っ越してきたとき、子どもを産む場所が全然ないと感じました。産後ケアは全員が使える制度のはずなのに、「病んでないと使えないのでは」とハードルを感じ、利用しないまま終わってしまいました。子どもが1歳までなら全ママが利用できることを周知してほしいです。また、民間やNPO、ボランティアの支援情報も周知できれば、つながりがより広がり子育てもしやすくなるのではと感じます。

執行部

出産できる場所が少ないことは私どもも心を痛めており、県や国共通の悩みでもあります。産後ケアについては、皆さんに利用してほしい一方、事故を未然に防ぐため、お母さんとお子さんの話を伺ったうえで施設を案内しており、利用者が限られてしまう課題もあります。市役所に来るのが大変な場合は、保健師訪問も可能です。相談があれば保健師が丁寧に対応します。

子育て支援ガイドブックに、民間情報を掲載することは難しい面があります。また、SNSを活用した分かりやすい情報発信に努めていきたいと思えます。

1月29日（木）子育て交流サロン「のぞみ」

・産後ケア申請の窓口対応を丁寧にしてほしい。

産後ケアの申請・対応に納得いかないことがあります。

産後ケアの申請をしようとしたら、「笑えているから大丈夫」と言われ申請できなかったことがありました。空いている施設を事前に確認して申請に来たのに、対応してもらえず、辛い思いをしました。他の市では電話やLINEで申請できるのに、土浦市は必ず対面で状況をチェックしなければならず、ストレスを感じております。子育てへの不安があるなか、頼れる場所がなく、どんどん孤立していく感覚があります。

執行部

この度は、窓口で不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。

産後ケアの申請・対応については、改善に向けて対応してまいります。また、必要だと感じる方は誰でも受けられる制度ですので、話をよく聞き、適切に対応するよう指導します。また、不安なことがあればいつでも市に伝えてください。

1月29日（木）子育て交流サロン「のぞみ」

・保育所入所を柔軟に対応してほしい。

清潔な遊び場を提供していただいていることや、産前産後の5万円給付を現金で支給していただいていることがとてもありがたく感じております。

一方で、ならし保育について、育休から職場復帰をするにあたり入園月内での復職は難しいため復職期限を緩和していただけると大変助かります。また、保育料も軽減していただきたいです。

産後ケア面談にてチェックリストを記入する際、保健師さんが「あなたこれ大丈夫だね」と勝手にチェックしてしまい、ショックを受けたため、対応を改善していただきたいです。

また、家の近くの側溝に蓋がなく危険なため、整備していただきたいです。

#### 執行部

ならし保育は通常2週間程度で終わりますが、園からならし保育の延長が必要と言われた場合、職場復帰時期の延長も可能ですので、心配せずに市に相談してください。

保育料については、近隣市町村より安く設定していますが必要に応じ定期的に見直しをしていきます。私どもも皆さんと同じ気持ちですので、0～2歳児の保育料を無償化するよう国に要望しております。

また、産後ケアを利用するにあたって不快な思いをさせてしまい大変申し訳ございませんでした。利用者の心に寄り添うよう、保健師への指導を徹底いたします。

道路側溝については担当課へ情報提供させていただきます。

1月29日（木）子育て交流サロン「のぞみ」

・産後ケアをもっと周知してほしい。

妊娠後期の面談などを通じて、産後ケアを多くの人に利用してもらえるような案内があるといいと思いました。また、毎回面談や予約が必要で、正直ハードルが高いと感じています。

ファミリーサポートについても利用登録しましたが、サポーターが少なく利用できていません。なり手の研修や交流会などを充実させて、マッチングできるよう PR してほしいです。

荒川沖周辺に公園が少ないため増やしてほしいです。

また、土浦駅前にはファストフード店やファミレスなど気軽に立ち寄れる飲食店がもう少しあると嬉しいです。

執行部

産後ケアについては多くの声をいただいております、日々事業の見直しや改革を進めています。

何か困ったことがあればいつでも市に相談してください。

ファミリーサポートについては、ご意見のとおりマッチングの課題があります。なり手を増やせるように、社会福祉協議会と連携しながら PR を進めていきたいと考えております。公園の増設について、担当課へ情報提供いたします。

駅前の店舗について、引き続き企業誘致に努めてまいります。

1月29日（木）子育て交流サロン「のぞみ」

・子育て支援をもっと周知してほしい。

産後ケアについてはよく聞きますが、皆さんの話を聞いて初めてファミリーサポートの制度を知りました。色々な子育て支援制度について、広報誌などでもっと分かりやすく周知してほしいです。

ランドセルについて、水筒や教科書を入れると重くなり、子どもの小さい体には負担が大きいと感じています。また、忙しいなか、市役所窓口に行くのが大変だと感じています。

執行部

広報紙では年1回、特集として複数ページにわたり子育て情報を掲載していますが、それでも全てをカバーしきれていない部分もあります。Instagramなども活用し、より分かりやすく情報が届くよう周知に努めてまいります。

ランドセルについては市販品よりかなり軽く作っておりますが、子供たちの負担がさらに軽減されるよう4月にリニューアルいたします。

もし役所に行くのが大変であれば、ホームページからも相談できますのでぜひご利用ください。

1月29日（木）子育て交流サロン「のぞみ」

・障害児が通いやすい施設を増やしてほしい。

生まれたときから身体障害のある息子を育てています。市公式 LINE やハローワーク、こども食堂など、日々の生活を支えていただいていることに感謝しています。子育て中でも情報が届く仕組みや、働きやすい職場の紹介などは大きな助けになっています。

障害児用のバギーについて、自宅用と外出用の2台分が補助されている制度は本当に助かっています。洗濯機ほどの大きさがあり持ち運びが難しいため、今の補助体制はぜひ継続してほしいです。

作業療法士や理学療法士、保育士がそろった保育施設が少なく、片道30分ほどかけて通っています。専門職が配置された施設が増えれば、同じような家庭の負担も軽くなると思います。

執行部

温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。障害児用バギーの補助制度については、現行の体制をなくす予定はありませんので安心してください。私どもも、介護施設や障害福祉の現場の方々と接する機会があり、日々さまざまなご苦勞がおありだろうを感じています。皆さんの声を大切に受け止めながら、今後も土浦市で子育てをして良かったと思っていただけるようなまちづくりに取り組んでいきます。

1月29日（木）子育て交流サロン「のぞみ」

・産後ケアをもっと周知してほしい。

子育て交流サロンをよく利用しており、とてもありがたく感じております。産後ケアを知ったのは子どもが1歳を過ぎたところで、他のお母さんから聞いて知りました。まだ知らない方もいると思うので、新生児訪問のときに一言紹介してもらえると嬉しいです。

母子手帳発行時に申請したマタニティタクシー利用券にはとても助けられました。が、いざ券を使おうと思ったときに期限が切れていました。有効期限の延長を検討してほしいです。

執行部

産後ケアの周知については、ご意見を受け止め、新生児訪問時に保健師から案内するよう努めてまいります。

マタニティタクシーについては、段階的に改善を進めており、以前は一回に1枚しか使えなかったものが、現在は複数回利用できるようになっております。今回の意見も真摯に受け止め、今後も皆さんが使いやすい制度となるよう引き続き検討していきます。

1月29日（木）子育て交流サロン「のぞみ」

・子育て情報・手続きをオンライン化してほしい。

子育て交流サロンなど予約なしで気軽に来られる場所があることに、感謝しております。他の市から引っ越してきましたが、健診の充実度は土浦市が一番だと感じておりますので、今後も維持して欲しいです。

イベント予約や空き状況の確認を LINE やインターネットでできると嬉しいです。また、こどもランドが土日も空いていることもとてもありがたく感じてますが、混雑状況が事前に分かると助かります。

執行部

健診については、今後さらに充実させていく予定です。

今回の対話を通して、皆さんがインターネットを多く活用していることが分かりました。予約や案内の方法についても、今後さらに充実させていけるよう取り組んでいきます。